

若手職員からのメッセージ

若手職員数名に
インタビューをしました。



数多ある就職先候補の中から、
何故、労働局を選んだのか？

- ★ 学生時代のアルバイト経験から、働くということが身近に感じられたため、労働行政に興味・関心があった。また、一般の求職者よりも就職が難しいであろう、障害者の雇用の開拓にも携わりたいと思ったから。
- ★ 就職活動をきっかけとして、職業人生への不安や重要さを強く感じました。その時に、労働環境を整え、労働者を様々な面から支えている労働局にあこがれを持ったからです。
- ★ パソコンに向かうような事務仕事だけでなく、人と触れ合うことができる窓口の仕事もしてみたいと思ったから。
- ★ 契約していた家庭教師派遣会社の破産という経験から、企業の破産により職を失った方の手助けができる行政を知り、携わりたく、労働局を選びました。

労働局に入って「良かったなあ」と感じたのは
どんとき（こと）？

- ★ 自分の業務はもちろんのこと、日々幅広く労働行政に関心を向けられること。ベテランの上司が丁寧に教えてくれること。ブラックじゃないこと（当たり前ですが笑）。
- ★ 利用者との距離が近く、来所者の方の意識の変化や就職という結果が、自分の仕事の成果として感じられる点は大きなモチベーションになります。特に、求職者の方が「アドバイスのおかげで就職が決まりましたよ」と報告に来られた時などは、この職場を選んで良かったと感じます。

- ★職場の方たちが優しく、自分を可愛がってくれることです。確かに就職先を選ぶ際に自分がやりたいことは何かという視点も重要だと思いますが、組織で仕事を行う以上、人間関係は大事なので、そこは大きなポイントだと思います。
- ★窓口対応に出ている、初めて利用者から指名で依頼された時。自身が必要とされていることを感じ、「頑張ろう！」と前向きになれた。
- ★いままで知らなかったような地元の企業が、実はすごい商品を作っているのを知ることができたとき。職場のみなさんが優しいので、仕事上のどんな些細なことでも親身になって相談にのってくれたとき。
- ★学生から急に社会人になって大変ではあったが、基本的に残業も少なく有給がとりやすく精神的に余裕がもてたとき。

新人事制度*により、他局へ行くことについて
どんな印象や思いがありました(す)か？



- ★他の県に行くことで人脈を広げられるし、北陸ブロック内だけでの異動なので生活に大きな支障もなさそうだと思います。
- ★他県に行くことで他県の現状や自分の県との相違を知ることは、今後の業務に良い経験になると思います。あとは、他局の同期から自慢のようなものはいろいろ聞いているので、勝手に親近感を抱いています。
- ★少々不安な面があることも否定できないが、新しい土地に赴き、多くの人々との出会いが待っていると思うと、非常に楽しみである。
- ★自分の定着希望局を一時期離れてしまうというマイナス面も感じますが、富山局以外の同期と一緒に仕事ができ、また交流を深めることができる良い制度だという思いもあります。
- ★赴任する労働局に対する労働市場の知識不足など不安な点はありましたが、結果として他局での勤務を経験することは様々な知識やノウハウを得る大きなきっかけとなりました。

実際に富山局に転入してみてどうでしたか？
(他局から転入してきた方)

- ★富山局では、今までに経験の無い業務を担当することになり不安もありましたが、上司や他の職員からのフォローのおかげでなんとかやっていけました。富山局は上司や周りの方に相談しやすい職場環境だったため、非常に助かりました。
- ★自分は事前の引き継ぎがなく転入日からの業務開始だったのですが、周りの職員の方が本当に親切にいろいろ教えてくださり、スムーズに業務に入っていくことができました。生活面も含め、富山の人の「温かさ」に助けられています。
- ★今までに経験のない業務を担当することになったが、上司や同僚が親切で相談しやすい環境にあり、助かっている。
- ★定着局に転入したということもあり、富山局の人やことについて多くのことを教えていただけ、なじめるようにとの気遣いを感じる。

労働局を目指す方に対し、アドバイスや一言をお願いします！

- ★不特定多数の方と触れ合う機会が非常に多い職場です。人と話すことが好きな方、人の役に立ちたい方には合う職場だと思います。
- ★私がそうでしたが、自分のイメージにとらわれず、様々な業種の説明会に参加して見識を広めることが大事だと思います。そうした中でその職種を選んだという思いが就職活動の武器になると感じています。不安なことはばかりで大変だと思いますが、自分の実力を十二分に発揮できることを期待しています。
- ★試験勉強に集中することは大切ですが、周りの人との関わりを疎かにしないようにすることはもっと大切なことだと思います。なぜなら、仕事は周りとは相談することが非常に多いからです。
- ★素直で、ありのままの自分自身を、就職活動においても職場においても持ち続けることが大事ではないかと思います。
わからないことは、一人で抱え込まず、他の職員や上司に質問しましょう！
- ★自分の仕事を通じて人の人生に関わることのできるやりがいのある職場です。人の役に立てる仕事がしたい方なら、ぜひ労働局へ！